



# 附属資料

第5次 小牧市総合計画書 資料編

小牧市総合計画審議会諮問

小牧市総合計画審議会答申

小牧市総合計画審議会条例

小牧市総合計画審議会

総合計画策定会議

総合計画策定委員会

総合計画策定研究委員会

総合計画策定事務局

総合計画策定体制

総合計画策定経過

小牧市総合計画の推移と概要



## 小牧市総合計画審議会諮問

11 小企 第 47 号

平成 11 年 6 月 2 日

小牧市総合計画審議会

会 長 山 田 久 恒 様

小牧市長 中 野 直 輝

### 第 5 次小牧市総合計画（案）について（諮問）

小牧市総合計画審議会条例第 2 条の規定に基づき、第 5 次小牧市総合計画基本構想・基本計画（案）について、貴審議会の意見を求めます。

# 小牧市総合計画審議会答申

平成 11 年 11 月 16 日

小牧市長 中 野 直 輝 様

小牧市総合計画審議会  
会 長 山 田 久 恒

## 第 5 次小牧市総合計画（案）について（答申）

平成 11 年 6 月 2 日付け小企第 47 号で諮問のありましたこのことについて、当審議会で慎重に審議した結果、別冊のとおり答申します。

なお、計画の推進にあたっては、下記の事項に十分配慮され、本計画の目指す「人と緑 かがやく創造のまち」の実現に向け努力されることを希望します。

### 記

- 1 市民憲章に掲げる理想を目指したまちづくりは、行政のみならず、全市民の不断の努力によって推進されるべきものであり、市民に分かりやすい情報提供、積極的な市民参加の推進、市民活動の促進などにより、市民主役の総合的なまちづくりを推進すること。
- 2 少子・高齢化による福祉ニーズの多様化や学校・地域・家庭における教育力の低下、環境問題の深刻化など、新たな時代の潮流を的確にとらえ、本市の実情に対応した施策を実施し、社会の変化に対応できる市民の育成と安全で安心して暮らせるまちづくりを推進すること。  
また、地方分権、行政改革、市町合併など、近年の新たな自治制度の動きに対しても積極的に取り組み、自立したまちづくりを推進すること。
- 3 スポーツ公園総合体育館やリサイクルセンターなどの新たな施設については、本市のもつ歴史、文化、人材などを活かしつつ、既存施設との連携活用、独創的なソフト事業の展開、継続的に活動を展開するためのシステム構築など、市民活動の活性化を図る諸条件の整備を進め、個性あるまちづくりを推進すること。
- 4 基本計画の実施にあたっては、当審議会での意見等を十分検討するとともに、施策の重点化、行政の役割の明確化、行政の横断的な対応を図ること。また、市民の模範となるため、環境、景観など行政の率先行動を推進すること。更に、時代の進展とともに市民ニーズの多様化が予測されるため、弾力的な行政運営に努めること。



# 小牧市総合計画審議会条例

昭和38年12月17日

条例第37号

改正 昭和10年12月24日

条例第25号

## (趣旨)

第1条 この条例は、地方自治法（昭和22年法律第67号）第138条の4第3項の規定に基づき、小牧市総合計画審議会の設置及び運営に関する事項を定めるものとする。

## (設置)

第2条 市長の諮問に応じ、市の総合計画に関し必要な調査及び審議を行わせるため、小牧市総合計画審議会（以下「審議会」という。）を置く。

## (組織)

第3条 審議会は、委員25人以内で組織する。

2 委員は、次に掲げる者について、市長が任命する。

- |                        |    |
|------------------------|----|
| (1) 市議会の議員             | 9人 |
| (2) 市の行政委員会の委員         | 2人 |
| (3) 国又は県の地方行政機関の職員     | 1人 |
| (4) 市の区域内の公共的団体の役員及び職員 | 5人 |
| (5) 学識経験を有する者          | 3人 |
| (6) その他市長が特に必要と認める者    | 5人 |

## (会長)

第4条 審議会に会長を置き、委員の互選によつてこれを定める。

2 会長は、会務を総理する。

3 会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、会長があらかじめ指定した委員が、会長の職務を代理する。

## (委員)

第5条 委員の任期は、1年とする。ただし、補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

## (会議)

第6条 審議会の会議は、会長が招集する。

2 審議会の会議は、委員の半分以上が出席しなければ開くことができない。

3 審議会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、会長の決するところによる。

## (雑則)

第7条 この条例に定めるもののほか、審議会に関し必要な事項は、市長が定める。

## 附 則

1 この条例は、公布の日から施行する。

2 小牧市新市建設審議会条例（昭和33年小牧市条例第5号）は、廃止する。

## 附 則（平成10年条例第25号）

この条例は、公布の日から施行する。



# 小牧市総合計画審議会

	氏 名	役 職 等	所属部会
会 長	山 田 久 恒	元 名古屋大学教授	第 3 部会
会長職務代理	野々川 和 明	小牧市区長会連合会長	部会長  第 1 部会 (地域自治・計画推進部会) 基本計画第 1 章、第 6 章担当
委 員	細 敏 雄	小牧市議会議員	
委 員(注 1)	舟 橋 三 治	小牧市議会議員	
委 員	鈴 木 建 吾	小牧市議会議員	
委 員	長谷川 啓 二	小牧青年会議所副理事長	
委 員	落 合 智恵子	小牧市女性の会常任理事	
委 員	坂 田 新	愛知文教大学副学長・学部長	
委 員	舟 橋 伸 治	一般公募	
委 員	河 田 峯 雄	小牧市農業委員会会長	部会長  第 2 部会 (生活環境・基盤整備部会) 基本計画第 2 章、第 5 章担当
委 員	滝 澤 秀 樹	小牧市議会議員	
委 員	社 本 茂	小牧市議会議員	
委 員	小 柳 松 夫	小牧市議会議員	
委 員	山 本 實	小牧商工会議所常議員	
委 員	白 鳥 洋 子	名古屋造形芸術大学講師	
委 員	鳥 居 由香里	一般公募	
委 員	山 川 好 弘	一般公募	
委 員	勝 野 義 久	小牧市社会福祉協議会会長	部会長  第 3 部会 (保健福祉・教育文化部会) 基本計画第 3 章、第 4 章担当
委 員	三ッ岩 薫	小牧市議会議員	
委 員	竹 内 里 美	小牧市議会議員	
委 員	千 田 八 朗	小牧市教育委員会委員長	
委 員	犬 飼 千 秋	春日井保健所小牧支所長代理兼管理課長	
委 員	岩 下 道 子	一般公募	
委 員	鈴 木 祥 弘	一般公募	
委 員(注 2)	伊 藤 芳 輝	小牧市議会議長	
委 員(注 2)	伊 藤 宏 行	小牧市議会副議長	

(注 1) 第 1 回～第 6 回審議会委員在任

(注 2) 第 7 回～第 8 回審議会委員在任



# 総合計画策定会議

(平成11年度)

委員長 助 役	能 登 邦 彦
収入役	長谷川 守
教育長	山 本 道 雄
企画調整部長	森 川 勝 己
総務部長	石 黒 政 春 (稲垣 政 弘)
財務部長	佐々木 辰 興
市民部長	沖 本 栄 作 (神戸 康 幸)
福祉保健部長	江ノ本 賢 治
経済環境部長	伊 藤 茂 (吉田 健 治)
建設部長	鈴 木 劔 二 (石黒 政 春)
都市開発部長	服 部 勲 (保手浜 清登)
市民病院事務局長	鷓 飼 義 則
水道部長	舟 橋 晴 夫
教育部長	鈴 木 一 成
議会事務局長	後 藤 重 信
土地開発公社事務局長	梶 田 治 良
消防長	松 浦 正 之 (酒井 正 治)
施設管理協会事務局長	吉 田 健 治 (沖本 栄 作)
小牧都市開発(株) 専務取締役兼総務部長	落 合 弘 則 (伊藤 茂)

( )内は10年度前任者

# 総合計画策定委員会

(平成10年度)

企画調整部	委員長	森川勝己	都市開発部	都市開発部次長	服部 勲
	企画調整部長	伊藤哲朗		都市開発部次長(区画整理担当)	梶田治良
	企画調整部次長	玉置久斉		都市計画課長	波多野健美
	秘書課長兼行政管理課長	棚村重三		公園緑地課長	横井孝男
総務部	企画課長	伊藤徹	区画整理課長	吉川孝善	
	総務部次長	倉地謙三	下水道管理課長	兼松鈴夫	
	総務課長	林義弘	下水道建設課長	松山憲男	
	人事課長	松本作十	市民病院 事務局	市民病院事務局次長	穂積啓允
	情報管理課長	河田和男		庶務課長	舟橋英夫
	国際振興課長	長谷川和男		業務課長	長谷川信夫
財務部	工事検査室長	鈴木弘之	健診センター所長	塚原 勝	
	財務部次長	沖本嘉一郎	会計課長	加藤二三夫	
	財政課長	若松那義	水道部	水道部次長	高井昭夫
	市民税課長	松永守弘		管理課長	林 猛
	資産税課長	野田 豊		工務課長	佐藤 恵
市民部	収税課長	落合弘則	教育委員会 事務局	教育部次長	横地保彦
	市民部次長	伊藤鉦己		庶務課長	永井 修
	生活課長	河原節応		学校教育課長	馬上典久
	市民課長	西尾和則		生涯学習課長	伊藤雅幸
福祉保健部	国保年金課長	永井利保	文化振興課長	土屋公康	
	福祉保健部次長	梶田 馨	体育課長	増田新平	
	福祉課長	伊藤賢児	まなび創造館長	亀谷博美	
	高齢者対策課長	水野純一	図書館長	江口 格	
	児童課長	小林敦子	味岡市民センター所長	増田信道	
	保健センター所長	松浦正之	東部市民センター所長	波多野 勝	
経済環境部	環境整備課長	江口鐘平	北里市民センター所長	加藤秀逸	
	経済環境部次長	大野和美	議会事務局	議会事務局次長兼議事課長	大野信行
	農政課長	森 康		監査委員事務局長	堀尾正司
	商工課長	磯部立茂	土地開発公社事務局長	河柳 鎮夫	
	環境整備課長	野々川 茂	消防本部	消防次長	河田英機
清掃事務所長	鈴木 劔二	総務課長		野々川 昭次	
清掃管理課長	伊藤美勝	予防課長		佐橋克彦	
建設部次長	舟橋宣成	防災課長		野村耕司	
維持管理課長	鈴木敏郎	消防署長		佐橋功一郎	
建設部	土木課長	森川 進	消防署東支署長	伊藤光裕	
	建築課長		施設管理協会	庶務課長	佐橋英昭
	建築課長			温水プール事務所長	足立清己
	用地課長			小牧岩倉衛生組合事務所長	落合勝之



# 総合計画策定研究委員会

(平成9年度)

	委員長 企画調整部次長	伊藤 哲 朗		工事検査室検査係主査	波多野 直 人
基本構想部会	秘書課長補佐兼行政管理課長補佐	前 田 伸 博	産業部会	農政課農政係長	長谷川 敏
	企画課広報広聴係長	松 岡 和 宏		商工課商工振興係長	柴 田 和 則
	人事課人事係主査	廣 畑 英 治		維持管理課整理係主査	大 嶋 多知男
	資産税課庶務係長	樋 口 民 雄		用地課庶務係長	加 藤 憲 悟
	国保年金課年金係専門員	亀 谷 純 子		水道部管理課長補佐	山 下 光 雄
	商工課商工振興係長	柴 田 和 則		消防本部消防署長補佐	中 山 敏 秋
	建築課建築指導係主査	坂井田 健 司		議事課議事係主査	大 野 成 尚
	都市計画課調整管理係主査	青 木 清		国保年金課年金係専門員	亀 谷 純 子
	公園緑地課管理係長	山 田 好 朗		福祉課長補佐	小 林 洵 司
	生涯学習課青少年女性係主査	仲 根 伸 子		高齢者対策課長補佐	大 島 英 二
	文化振興課文化財係長	中 嶋 隆		児童課長補佐	平 手 民 興
	議事課議事係主査	大 野 成 尚		保健センター保健指導係主査	江 崎 みゆき
	監査委員事務局監査係主査	舟 橋 毅		市民病院事務局庶務課長補佐	松 浦 昌 義
	都市基盤部会	情報管理課情報処理係長		森 正 明	会計課出納係主査
資産税課庶務係長		樋 口 民 雄	味岡市民センター庶務係主査	大 橋 真理子	
市民課市民係主査		原 科 秀 幸	監査委員事務局監査係主査	舟 橋 毅	
土木課長補佐		山 滝 実	国際振興課振興係長	鷲 津 徹	
都市計画課調整管理係主査		青 木 清	庶務課庶務係主査	倉 地 浩 司	
区画整理課指導係主査		永 井 新 一	学校教育課長補佐	大 野 徳 光	
下水道建設課長補佐		近 藤 俊 夫	生涯学習課青少年女性係主査	仲 根 伸 子	
東部市民センター庶務係主査		永 井 信 保	文化振興課文化財係長	中 嶋 隆	
消防本部総務課長補佐		石 黒 行 雄	体育課長補佐兼体育係長	大 橋 純 正	
生活環境部会		生活課長補佐	水 野 浩	まなび創造館事業推進係長	長谷川 あけみ
	環境整備課長補佐	丹 羽 護	図書館図書係長	玉 置 寛	
	清掃管理課ごみ減量推進係主査	鈴 森 弘 康	北里市民センター庶務係長	加 藤 勉	
	建築課建築指導係主査	坂井田 健 司	秘書課長補佐兼行政管理課長補佐	前 田 伸 博	
	公園緑地課管理係長	山 田 好 朗	企画課広報広聴係長	松 岡 和 宏	
	下水道管理課長補佐	松 田 孝 芳	総務課庶務係長	尾 関 龍 彦	
	市民病院事務局業務課医事係長	忝 浦 典 明	人事課人事係主査	廣 畑 英 治	
	水道部工務課拡張係主査	光 田 剛 敏	財政課財政係専門員	水 野 義 博	
	消防本部予防課長補佐	田 辺 秋 男	市民税課市民税第1係長	桜 井 英 治	
	消防本部防災課防災係長	堀 尾 好 文	収税課管理係長	横 地 克 彦	
			計画推進部会		

( : 部会長 : 副部会長 (基本構想部会委員))

(平成10年度)

	委員長 企画調整部次長	伊藤 哲朗		収税課管理係長	横地 克彦
地域自治部会	国際振興課振興係長	鷲津 徹	教育文化部会	庶務課庶務係主査	倉地 浩司
	工事検査室検査係主査	波多野 直人		学校教育課長補佐	大野 徳光
	市民税課税制係長	石黒 博充		文化振興課文化財係長	中嶋 隆
	福祉課長補佐	加藤 ヒロ子		体育課長補佐兼体育係長	大橋 純正
	用地課用地第2係主査	青木 清		まなび創造館事業推進係長	長谷川 あけみ
	市民病院事務局業務課医事係長	姿 浦 典明		図書館図書係長	舟橋 泉
	水道部管理課長補佐	山下 光雄		東部市民センター庶務係主査	永井 信保
	生涯学習課青少年女性係主査	仲根 伸子		議事課議事係主査	大野 成尚
	北里市民センター庶務係長	酒井 裕憲			
生活環境部会	生活課長補佐	水野 浩	基盤整備部会	情報管理課情報処理係長	加藤 憲悟
	市民課市民係主査	原科 秀幸		資産税課庶務係長	樋口 民雄
	環境整備課長補佐	近藤 俊夫		農政課農政係長	長谷川 敏
	清掃管理課ごみ減量推進係長	柴田 和則		商工課労政係長	安藤 篤信
	公園緑地課管理係長	山田 好朗		維持管理課整理係主査	大嶋 多知男
	下水道建設課長補佐	小保 史郎		土木課道路係長	小関 己喜男
	会計課出納係主査	奥田 ます代		都市計画課都市計画係長	長瀬 孝
	水道部工務課拡張係主査	光田 剛敏		区画整理課指導係主査	永井 新一
	消防本部防災課防災係長	小島 博		下水道管理課長補佐	小林 洵司
保健福祉部会	消防本部消防署長補佐	中山 敏秋	監査委員事務局監査係主査	舟橋 毅	
	国保年金課年金係専門員	亀谷 純子	秘書課長補佐兼行政管理課長補佐	前田 伸博	
	高齢者対策課高齢者対策係長	舟橋 武仁	企画課広報広聴係長	松岡 和宏	
	児童課長補佐	倉島 一朗	総務課庶務係長	尾関 龍彦	
	保健センター保健指導係長	江崎 みゆき	人事課長補佐	川口 勝義	
	建築課開発指導係主査	坂井田 健司	財政課財政係専門員	水野 義博	
	市民病院事務局庶務課長補佐	松浦 昌義			
	味岡市民センター庶務係主査	大橋 真理子			
	消防本部総務課長補佐	野村 裕			
消防本部予防課長補佐	田辺 秋男				

( : 部会長)



## 総合計画策定事務局

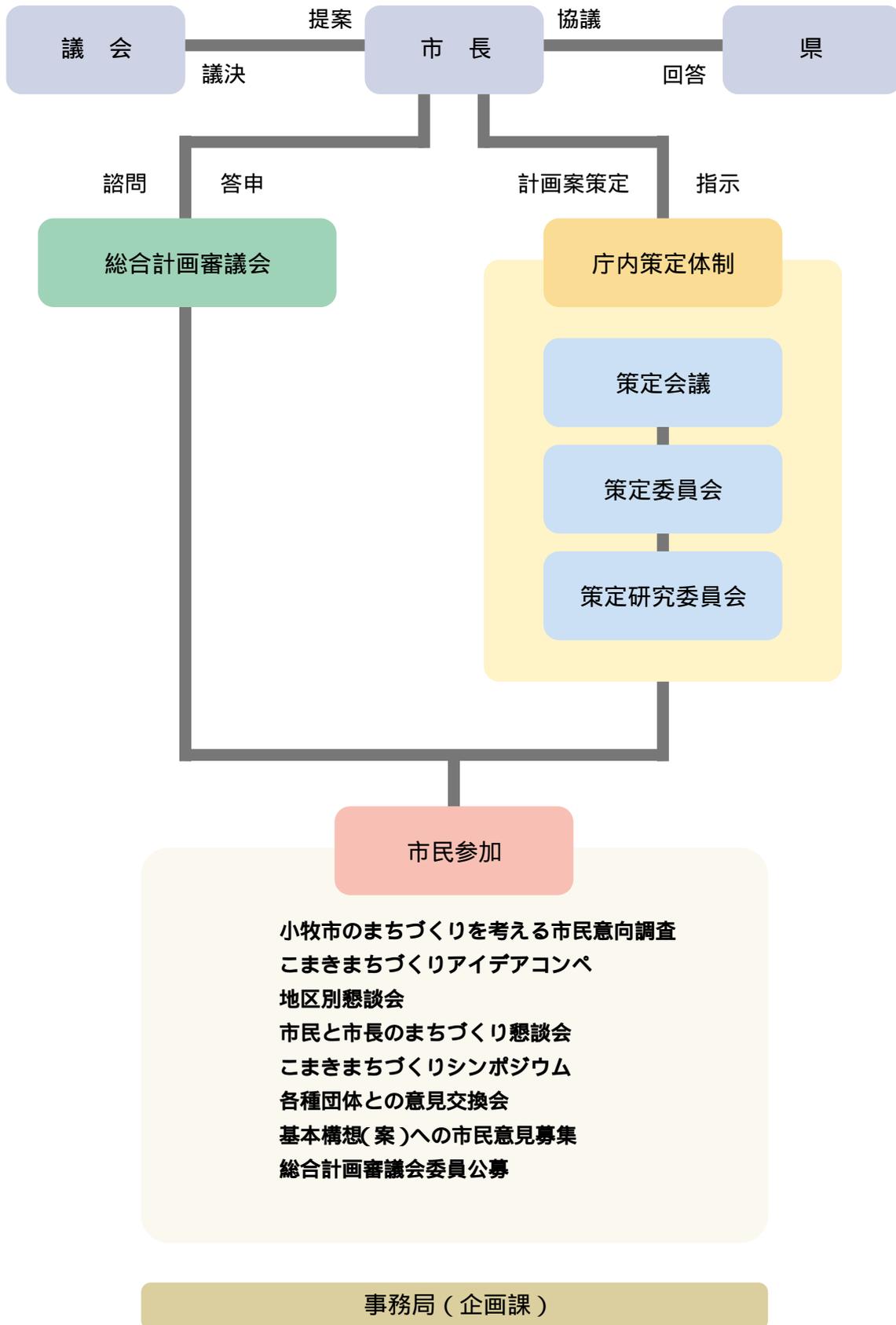
(平成11年度)

企画調整部長	森川勝己
企画調整部次長	玉置久斉 (伊藤哲朗)
企画課長	棚村重三 (倉地謙三)
企画課長補佐	長谷川由光
企画政策係長	高木健 (山元文昭)
企画政策係主査	河野佳代子 松永祥司 鍛冶屋勉 (倉地正人) (愛野恭彦)
企画政策係主事	江口幸全 (鈴木康正)

( )内は前任者



# 総合計画策定体制





## 総合計画策定経過

8.5.8	<p>総合計画棚おろしカルテ作成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第四次総合計画基本計画の進捗状況等について担当部局による検討作業実施 (8年度末とりまとめ)</li> </ul>
8.11.18 }	<p>小牧市のまちづくりを考える市民意向調査</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目的 総合計画策定のための基礎資料として、市民の現在の生活環境や今後のまちづくりについての意見や要望を幅広く正確にとらえるため実施</li> <li>・対象 平成8年10月時点の住民基本台帳から18歳以上の市民を対象に無作為に1万人を抽出</li> <li>・調査方法 郵送配布留置郵送回収</li> <li>・実施時期 11月18日から12月2日までの2週間</li> <li>・回収状況 有効回収数 6,091通 有効回収率 61%</li> </ul>
8.12.2	
9.5.1	<p>広報こまき 「市民意向調査結果報告」</p>
9.5.20	<p>第5次総合計画策定方針庁議決定</p>
9.6.17	<p>市議会 全員協議会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・総合計画策定方針の説明</li> </ul>
9.7.4	<p>策定研究委員会 全体会(第1回)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・総合計画策定方針について</li> <li>・講演 「21世紀に向けての総合計画づくり」 講師 松村 久美秋(地域問題研究所 調査研究部長)</li> <li>・今後の計画策定スケジュールについて</li> <li>・部会の設置等について</li> </ul>
9.7.15	<p>広報こまき 「新しい総合計画づくりについて」 「こまきまちづくりアイデアコンペ募集」</p>
9.8.6 }	<p>策定研究委員会 基本計画部会(6部会設置)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・部会ごとに現計画の基本計画総括表の作成、検討</li> </ul>
9.9.1	
9.8.1 }	<p>こまきまちづくりアイデアコンペ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目的 市民参加の総合計画策定を進めるため、広く市民から小牧の歴史や自然を生かしたり、21世紀を迎えるにふさわしい、魅力ある楽しいアイデアを募集</li> <li>・募集内容 まちづくりキャッチフレーズ、まちづくりアイデア、こまき再発見</li> <li>・応募総数 183点</li> </ul>
9.9.19	
9.7.29 }	<p>地区別懇談会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目的 市民意向調査の地区別分析結果を資料としつつ、各地区の住民と身近な生活環境や今後のまちづくりについての意見交換を実施</li> </ul>
9.8.21	

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・開催方法 中学校区を加味しつつ、おおむね2つの小学校区を合わせた地区ごと開催</li> <li>・開催実績 <table border="0" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%;">7/29</td> <td style="width: 70%;">小牧南・米野小校区（大山保育園）</td> <td style="width: 20%; text-align: right;">37人</td> </tr> <tr> <td>7/30</td> <td>小牧・小牧原小校区（中部公民館）</td> <td style="text-align: right;">16人</td> </tr> <tr> <td>7/31</td> <td>村中・三ッ淵小校区（村中会館）</td> <td style="text-align: right;">37人</td> </tr> <tr> <td>8/5</td> <td>北里・小木小校区（北里市民センター）</td> <td style="text-align: right;">28人</td> </tr> <tr> <td>8/6</td> <td>一色小校区（味岡市民センター）</td> <td style="text-align: right;">10人</td> </tr> <tr> <td>8/7</td> <td>味岡・本庄小校区（味岡市民センター）</td> <td style="text-align: right;">10人</td> </tr> <tr> <td>8/19</td> <td>桃ヶ丘・陶小校区（東部市民センター）</td> <td style="text-align: right;">24人</td> </tr> <tr> <td>8/20</td> <td>篠岡小校区（東部市民センター）</td> <td style="text-align: right;">32人</td> </tr> <tr> <td>8/21</td> <td>大城・光ヶ丘小校区（東部市民センター）</td> <td style="text-align: right;">20人</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td style="text-align: right;">（計214人）</td> </tr> </table> </li> </ul>	7/29	小牧南・米野小校区（大山保育園）	37人	7/30	小牧・小牧原小校区（中部公民館）	16人	7/31	村中・三ッ淵小校区（村中会館）	37人	8/5	北里・小木小校区（北里市民センター）	28人	8/6	一色小校区（味岡市民センター）	10人	8/7	味岡・本庄小校区（味岡市民センター）	10人	8/19	桃ヶ丘・陶小校区（東部市民センター）	24人	8/20	篠岡小校区（東部市民センター）	32人	8/21	大城・光ヶ丘小校区（東部市民センター）	20人			（計214人）
7/29	小牧南・米野小校区（大山保育園）	37人																													
7/30	小牧・小牧原小校区（中部公民館）	16人																													
7/31	村中・三ッ淵小校区（村中会館）	37人																													
8/5	北里・小木小校区（北里市民センター）	28人																													
8/6	一色小校区（味岡市民センター）	10人																													
8/7	味岡・本庄小校区（味岡市民センター）	10人																													
8/19	桃ヶ丘・陶小校区（東部市民センター）	24人																													
8/20	篠岡小校区（東部市民センター）	32人																													
8/21	大城・光ヶ丘小校区（東部市民センター）	20人																													
		（計214人）																													
<p>9.10.15</p>	<p>広報こまき 「市民と市長のまちづくり懇談会案内」 「地区別懇談会意見紹介」</p>																														
<p>9.10.28 ） 9.11.6</p>	<p>市民と市長のまちづくり懇談会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目的 地区別懇談会で集約された意見をもとに、市長が出席し、市政に関する諸問題について直接市民との対話を行い、その意見を総合計画策定に反映するため実施</li> <li>・開催方法 市内4地区</li> <li>・開催実績 <table border="0" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%;">10/28</td> <td style="width: 70%;">小牧地区（小牧市公民館）</td> <td style="width: 20%; text-align: right;">32人</td> </tr> <tr> <td>10/30</td> <td>味岡地区（味岡市民センター）</td> <td style="text-align: right;">36人</td> </tr> <tr> <td>11/4</td> <td>北里地区（北里市民センター）</td> <td style="text-align: right;">30人</td> </tr> <tr> <td>11/6</td> <td>篠岡地区（篠岡市民センター）</td> <td style="text-align: right;">64人</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td style="text-align: right;">（計162人）</td> </tr> </table> </li> </ul>	10/28	小牧地区（小牧市公民館）	32人	10/30	味岡地区（味岡市民センター）	36人	11/4	北里地区（北里市民センター）	30人	11/6	篠岡地区（篠岡市民センター）	64人			（計162人）															
10/28	小牧地区（小牧市公民館）	32人																													
10/30	味岡地区（味岡市民センター）	36人																													
11/4	北里地区（北里市民センター）	30人																													
11/6	篠岡地区（篠岡市民センター）	64人																													
		（計162人）																													
<p>9.9.11 ） 10.3.30</p>	<p>策定研究委員会 基本構想部会 （部会10回、市長との意見交換会2回、先進地視察）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各部会での討議内容報告</li> <li>・時代の潮流等について</li> <li>・基本構想の検討課題について（小牧をとりまく状況、継続課題等）</li> <li>・尾張北部行政圏各市町ヒアリング</li> <li>・新基本構想の検討課題、主要課題、主要施策、施策の大綱について</li> <li>・市長との意見交換会（2回実施）</li> <li>・先進地視察（静岡県掛川市、三島市） 生涯学習のまちづくり、グラウンドワークによるまちづくり</li> <li>・基本構想（案）について</li> </ul>																														



9 . 11 . 10	<p>こまきまちづくりアイデアコンペ審査会（第1回）</p> <p>会 長 山田久恒（椋山女学園大学教授）</p> <p>委 員 舟橋尚女（小木小学校教務主任）</p> <p>室井勝吉（小牧青年会議所地球市民室長）</p> <p>長屋浩子（小牧市女性の会副会長）</p> <p>森川勝己（企画調整部長）</p> <p>・募集結果、審査方法等について</p>
9 . 12 . 15	<p>広報こまき 「市民と市長のまちづくり懇談会意見紹介」</p>
9 . 12 . 18	<p>こまきまちづくりアイデアコンペ審査会（第2回）</p> <p>・入選作品の決定</p>
10 . 2 . 1	<p>広報こまき 「こまきまちづくりアイデアコンペ結果、最優秀作品発表」</p>
10 . 2 . 15	
10 . 3 . 1	
10 . 2 . 4	<p>職員アンケート</p> <p>・目 的 職員参加の計画づくりの一環として、医療職を除く全職員を対象にアンケートを実施し、総合計画に意見、アイデアを反映するため実施</p>
10 . 2 . 13	
10 . 2 . 28	<p>こまきまちづくりシンポジウム</p> <p>・目 的 まちづくりについて、各界で活躍している方から意見をいただき、総合計画策定に生かしていくとともに、計画策定のPRの場として実施</p> <p>・開催場所 まなび創造館 あさひホール</p> <p>・内 容 デザートコンサート</p> <p>特別講演「僕の自慢！カナダの街の魅力」(ジョン・ギヤスライト)</p> <p>まちづくりアイデアコンペ表彰式</p> <p>パネルディスカッション</p> <p>パネリスト</p> <p>山本種雄（小牧市老人クラブ連合会会長）</p> <p>鈴木恵美子（小牧市社会福祉協議会ボランティアセンター運営委員）</p> <p>荒井洋子（小牧市女性の会会長）</p> <p>中川 正（小牧青年会議所理事長）</p> <p>コーディネーター</p> <p>山田久恒（椋山女学園大学教授）</p> <p>・参加者 約300人</p>
10 . 3 . 19	<p>小牧市基礎調査報告とりまとめ</p>
10 . 4 . 22	<p>策定委員会（第1回）</p> <p>・策定体制について</p>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本構想(案)について説明</li> </ul>
10.4.27	<p>策定研究委員会 全体会(第2回)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・講演「いよいよ始まる! 21世紀のまちづくり」 講師 松村 久美秋(地域問題研究所 調査研究部長)</li> <li>・策定体制について</li> <li>・基本構想(案)について</li> <li>・策定スケジュール、部会構成</li> </ul>
10.6.8 }	<p>策定研究委員会 部会(6部会)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・部会ごとに基本計画項目「現況と課題」「目標」について検討</li> </ul>
10.7.31	(各部会4回開催)
10.5.14	<p>策定委員会(第2回)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基本構想(案)への意見等について</li> </ul>
10.5.19	<p>策定会議(第1回)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・策定体制について</li> <li>・基本構想(案)について</li> </ul>
10.6.2	<p>策定会議(第2回)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基本構想(案)への意見等について</li> </ul>
10.7.7	<p>策定会議(第3回)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人口推計について</li> <li>・将来像について</li> </ul>
10.7.21	<p>市議会 全員協議会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基本構想(案)について説明</li> </ul>
10.6.27 }	<p>各種団体との意見交換会(10団体)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目的 市内のさまざまな分野で活動している団体から、市政に対する意見を集約し、総合計画策定に反映させるため実施</li> <li>・開催実績 <ul style="list-style-type: none"> <li>6/27 小牧市国際交流協会</li> <li>7/9 ボランティア団体(シルバーライフを考える会、味噌地区リハビリたんぼぼの会、篠岡地区婦人奉仕団、岩崎中学校ジュニア奉仕団世話人会、点訳グループたんぼぼ、声のボランティアかっこう、手話サークルおてだま、ガイドヘルプ友の会)</li> <li>7/15 小牧市老人クラブ連合会</li> <li>7/27 小牧市農業協同組合</li> <li>7/30 まちづくりフェスタ夢小牧'98実行委員会(おおくさ探検隊、小牧エコロジー運動市民の会「えころ」、小牧青年会議所、大山川</li> </ul> </li> </ul>
10.11.19	



	<p>の自然に親しむ会、小牧高校雑草友の会、尾関学園ボランティアクラブ)</p> <p>8/19 小牧商工会議所</p> <p>10/28 小牧市区長会(各地区地区会長)</p> <p>10/30 市内企業(ダイフク、シーケーディー、大日本インキ、東海ゴム、日本ガイシ、日本特殊陶業、三菱重工業、三ツ星ベルト、商工会議所)</p> <p>11/4 小牧市青年大学</p> <p>11/19 小牧青年会議所</p>
10.8. 上旬 }	策定研究委員会 各部会先進地視察
10.9. 下旬	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域自治部会、計画推進部会：近江八幡市、箕面市 (ハートランド推進財団、市民参加条例、市民参加によるまちづくり等)</li> <li>・生活環境部会：飯田市、諏訪市 (エコタウンプラン、下水高度処理等環境施策等)</li> <li>・保健福祉部会：宇治市、野洲町 (保健・福祉・医療の連携、学校余裕教室の活用、介護サービス支援システム等)</li> <li>・教育文化部会：伊丹市、安土町 (文化財団による文化振興、史跡の保存活用等)</li> <li>・基盤整備部会：小矢部市、砺波市 (交流拠点、メルヘン建築物、住みよさ日本一のまちづくり等)</li> </ul>
10.9. 1	<p>広報こまき 「基本構想(案)発表、意見募集」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基本構想(案)を広報に掲載するとともに、市政モニター経験者へ依頼し、市民5人、市政モニター36人から意見が提案された。</li> </ul>
10.11. 16	<p>市議会との意見交換会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基本構想(案)等について</li> </ul>
10.10. 上旬 }	策定研究委員会 各部会(6部会)
10.11. 下旬	<ul style="list-style-type: none"> <li>・部会ごとに基本計画項目「計画の体系」「計画」について検討 (各部会6回開催)</li> </ul>
10.10. 21	<p>策定委員会(第3回)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基本計画素案への意見について</li> </ul>
11.2. 1 }	各部局との意見交換会
11.2. 10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目的 基本計画施策の大綱の関連部局ごとに意見交換を実施し、基本計画に反映させることを目的に実施</li> <li>・開催実績 2/1 建設部・都市開発部・教育委員会</li> </ul>

	<p>2/8 市民部・福祉保健部・市民病院</p> <p>2/9 総務部・財務部・企画調整部</p> <p>2/10 経済環境部・水道部・消防本部</p>
11.2.15	<p>広報こまき「総合計画審議会委員の募集」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・審議会委員5人を公募し、23人の市民から応募</li> </ul>
11.2.22	<p>策定委員会（第4回）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基本計画（案）について</li> </ul>
11.4.6	<p>策定会議（第4回）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・総合計画（案）について</li> </ul>
11.4.20	<p>策定会議（第5回）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・総合計画（案）への意見等について</li> <li>・総合計画（案）策定会議決定</li> </ul>
11.4.30	<p>愛知県協議開始</p>
11.6.2	<p>総合計画審議会（第1回）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・審議会委員任命</li> <li>・総合計画（案）の諮問</li> <li>・基本構想（案）の説明</li> </ul>
11.6.20	<p>基本構想・基本計画に対する愛知県意見回答</p> <p>（調整を要する事項 15件、調整を要しない事項 22件）</p>
11.6.28	<p>総合計画審議会（第2回）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基本構想（案）の審議</li> </ul>
11.7.1	<p>広報こまき「総合計画審議会委員紹介」</p>
11.7.14	<p>総合計画審議会（第3回）第2部会（生活環境・基盤整備部会）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基本計画（案）の審議</li> </ul> <p>2-1 廃棄物・リサイクル、2-2 省エネルギー・新エネルギー、2-3 環境対策、 2-4 空港対策、2-5 防災、2-6 消防・救急、2-7 防犯、2-8 交通安全、 2-9 消費生活</p>
11.7.15	<p>総合計画審議会（第3回）第3部会（保健福祉・教育文化部会）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基本計画（案）の審議</li> </ul> <p>3-1 高齢者福祉、3-2 児童福祉、3-3 母子・父子福祉、3-4 障害者(児)福祉、 3-5 住宅、3-6 社会保障、3-7 健康づくり、3-8 保健医療</p>
11.7.27	<p>総合計画審議会（第4回）第3部会（保健福祉・教育文化部会）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基本計画（案）の審議</li> </ul> <p>4-1 学校教育（幼児教育）、4-2 学校教育（義務教育）、4-3 学校教育（高校及び 高等教育）、4-4 青少年育成、4-5 男女共同参画、4-6 スポーツ</p>



11.8.2	総合計画審議会（第3回）第1部会（地域自治・計画推進部会） ・基本計画（案）の審議 1-1 市民参加・市民活動、1-2 地域活動、1-3 地域環境、1-4 地域福祉、 1-5 地域文化
11.8.4	総合計画審議会（第4回）第2部会（生活環境・基盤整備部会） ・基本計画（案）の審議 2-10 水環境(上水道)、2-11 水環境(汚水・排水)、2-12 水環境(河川・水路)、 2-13 公園・緑地、2-14 緑道、2-15 墓園・葬斎場、5-1 中心市街地整備、 5-2 市街地整備
11.8.5	総合計画審議会（第5回）第3部会（保健福祉・教育文化部会） ・基本計画（案）の審議 4-7 歴史・史跡、4-8 文化・芸術、4-9 小牧山、4-10 観光・レクリエーション、 4-11 雇用・勤労者福祉
11.8.9	総合計画審議会（第4回）第1部会（地域自治・計画推進部会） ・基本計画（案）の審議 1-6 生涯学習、1-7 国際交流、1-8 都市景観、1-9 花と緑
11.8.24	総合計画審議会（第5回）第2部会（生活環境・基盤整備部会） ・基本計画（案）の審議 5-3 交通網整備、5-4 情報通信、5-5 農業、5-6 商業、5-7 工業、5-8 物流、 5-9 名古屋空港、5-10 東部地区整備
11.8.30	総合計画審議会（第5回）第1部会（地域自治・計画推進部会） ・基本計画（案）の審議 6-1 広報・広聴、6-2 情報公開、6-3 行政の効率化、6-4 税・財政、 6-5 広域行政、6-6 地方分権
11.8.31	総合計画書等印刷企画案審査会 ・目的 市民に理解しやすく親しみが持て、新しい総合計画の目指すものが イメージできる計画書を作成するため、10社から印刷企画案の提 案を募り、審査会で選定 審査員 山田久恒（総合計画審議会会長） 白鳥洋子（総合計画審議会委員） 岩下道子（総合計画審議会委員） 石黒政春（総務部長） 野々部智（学校教育課長） 舟橋 泉（図書館図書係長）

11.9.16	総合計画審議会（第6回） ・各部会検討結果報告、審議
11.10.20	県意見の調整結果を愛知県へ報告
11.10.28	総合計画審議会（第7回） ・総合計画（案）、審議会答申（案）の審議
11.11.11	総合計画審議会（第8回） ・総合計画（案）、審議会答申（案）の審議、決定
11.11.16	総合計画審議会答申
11.12.1	市議会へ基本構想提出
11.12.22	市議会基本構想議決



## 小牧市総合計画の推移と概要

計画の名称	小牧市建設計画調整計画書	小牧市総合計画	第二次小牧市総合計画
策定年月	昭和34年5月(1959)	昭和39年9月(1964)	昭和46年2月(1971)
計画期間	昭和34年度(1959) } 昭和44年度(1969)	昭和39年(1964) } 昭和48年(1973)	昭和46年度(1971) } 昭和55年度(1980)
将来人口	10万人	15万人	17万人
将来像			健康で豊かな住みよい街
計画概要	<p><b>当面の政策</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・都市計画の整備 (高速自動車道路、産業道路の新設)</li> <li>・産業の振興 (工場の積極的誘致)</li> <li>・人口の増加 (住宅建設、教育施設)</li> </ul> <p>特に工場の誘致及び第3次産業の育成を図ることに重点を置き雇用の増大を図る</p> <p>商業に対しては第2の市街地の建設を計画する</p> <p>人口増加に伴う住宅地として、東部丘陵地帯の利用化を図る</p> <p>合理的な経営体制の確立のため行政機構の改革と職員数の適正化を図る</p>	<p><b>計画の目標</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・合理的な土地利用の計画</li> <li>・市全域にわたる農業、工業、商業等すべての産業の基盤確立とその振興</li> <li>・住民の日常生活に必要な都市環境(住宅、公園、上下水道、社会教育、図書館等)の整備拡充</li> <li>・行政の合理化と財政の確立</li> </ul> <p><b>計画の構成</b></p> <p>基礎的条件の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・土地利用計画</li> <li>・総合地域計画</li> <li>・水政計画</li> <li>・交通通信計画</li> <li>・産業振興計画</li> <li>・中部経済圏の内陸工業地帯として、名古屋市の工業力の外延的発展とインターを中心とした産業開発</li> <li>・誘致工場等の合理的土地利用と立地の総合的な考慮</li> <li>・トラックターミナル計画に対応するための輸送体系と道路交通を考慮した土地利用</li> <li>・農業計画・林業計画</li> <li>・商工業計画・観光計画</li> <li>・文化厚生計画</li> <li>・教育計画・民生計画</li> <li>・衛生計画・住宅計画</li> <li>・労働計画・消防防災計画</li> </ul> <p>行財政計画</p>	<p><b>計画の課題</b></p> <p>下記の理由による工場進出、人口の激増、スプロール化、農業基盤の劣弱化に対応し、住民福祉の向上を図る</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高速道路インター設置の決定と建設</li> <li>・大都市近郊でありながら地価の安価さによる急速な外延的発展</li> <li>・県地方計画における内陸工業地帯としての位置付けと企業の集中立地など</li> </ul> <p><b>基本方針</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・土地利用構想の確立と交通体系の整備</li> <li>・企業の計画的配置</li> <li>・消費構造に適応した農産物供給</li> <li>・住宅地の計画的開発</li> <li>・東部地区の開発(桃花台川/ワ)</li> </ul> <p><b>計画の構成</b></p> <p>基礎的条件の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・計画の重点</li> <li>・土地利用計画</li> <li>・都市計画・水政計画</li> <li>・交通通信計画</li> <li>・産業振興計画</li> <li>・計画の重点</li> <li>・農業計画</li> <li>・商工業計画・観光計画</li> <li>・文化厚生計画</li> <li>・計画の重点</li> <li>・教育計画・民生計画</li> <li>・衛生計画・住宅計画</li> <li>・消防防災計画・公害防止計画</li> </ul> <p>行財政計画</p>

	第三次小牧市総合計画	第四次小牧市総合計画 (こまきレインボープラン <sup>21</sup> )	第5次小牧市総合計画 (かがやくクリエイション <sup>21</sup> )
	昭和56年10月(1981)	平成2年10月(1990)	平成11年12月(1999)
	昭和56年度(1981) } 平成2年度(1990)	平成3年(1991) } 21世紀初頭(基本構想)平成12年(2000)(基本計画)	平成12年(2000) } 平成21年(2009)
	17万人	17万人	16万人
	活気ある緑豊かな生きがいのある文化都市	活気ある緑豊かな生きがいのある文化都市	人と緑 かがやく創造のまち
	<p>計画の課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 桃花台ニュータウン開発に伴う問題への対処と桃花台沿線開発の推進</li> <li>・ 都市としてふさわしい文化機能中心核の整備</li> <li>・ 新旧市民の心のきずなの醸成及び市民意識の高揚</li> <li>・ 豊かに残されている自然の保全及び次世代への継承</li> <li>・ 安全で健康かつ生きがいのある生活ができるよう文化福祉及び居住環境の整備の推進</li> <li>・ 交通の結節点としての機能を生かした産業立地の適正な誘導と職住近接の自立性の高いまちづくり施策の大綱</li> <li>・ カブよく伸びるまちづくり <ul style="list-style-type: none"> <li>- 都市基盤の整備 -</li> </ul> </li> <li>・ 安全で快適なまちづくり <ul style="list-style-type: none"> <li>- 生活環境の整備 -</li> </ul> </li> <li>・ 調和のとれた豊かなまちづくり <ul style="list-style-type: none"> <li>- 産業の振興 -</li> </ul> </li> <li>・ 幸せで生きがいのあるまちづくり <ul style="list-style-type: none"> <li>- 社会福祉の充実 -</li> </ul> </li> <li>・ 文化をはぐくむまちづくり <ul style="list-style-type: none"> <li>- 教育文化の振興 -</li> </ul> </li> <li>・ 市民とともに歩むまちづくり <ul style="list-style-type: none"> <li>- 行財政の合理化 -</li> </ul> </li> </ul> <p>時代の潮流</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 低成長経済</li> <li>・ 都市問題の深刻化</li> <li>・ 高齢化社会の到来</li> <li>・ 厳しい農業情勢</li> <li>・ 文化の時代</li> <li>・ 三全総による大都市圏整備の方向</li> </ul>	<p>計画の課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市民相互の心のきずなの醸成と市民意識の高揚</li> <li>・ 交通網の早急な整備</li> <li>・ 小牧駅周辺を核とする中心市街地の活性化と各地域の特性を生かした調和のあるまちづくり</li> <li>・ 豊かな自然の適正活用と緑化の推進</li> <li>・ 交通要衝地の特性を生かした生産、物流機能の集積、高度化</li> <li>・ 市民ニーズに対応できる質の高い教育文化の振興</li> <li>・ 健康づくりの促進及び高齢化社会への総合的対策</li> <li>・ 国際化、情報化に対応できる文化、教育、産業施設の立地誘導</li> <li>・ 将来像実現のための目標</li> <li>・ 誇りを育てる都市の形成</li> <li>・ 未来をひらく活力都市の形成</li> <li>・ ハイ・モビリティ都市の形成</li> </ul> <p>施策の大綱</p> <p>第3次の「行財政の合理化」を「計画推進のために」とする</p> <p>その他は第3次と同じ</p> <p>時代の潮流</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 国際化の進展</li> <li>・ 高齢化の進行</li> <li>・ 情報の高度化</li> <li>・ 技術革新の進展</li> <li>・ 自然の保全</li> <li>・ 余暇の活用</li> <li>・ 快適性の向上</li> <li>・ 生活様式、意識の多様化</li> <li>・ 生活圏の拡大</li> </ul>	<p>計画の課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市民自治を高めるまちづくり</li> <li>・ 高齢者が生涯現役で暮らせるまちづくり</li> <li>・ 将来を担う心豊かで健康なひとづくり</li> <li>・ 個性豊かなまちづくり</li> <li>・ 環境にやさしい自然と共生したまちづくり</li> <li>・ 広域的視点に立ったまちづくり</li> <li>・ 高度で創造的な産業の拠点づくり</li> </ul> <p>基本理念</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ まちづくりの主役を担うひとづくり</li> <li>・ 人にやさしい自然と共生したまちづくり</li> <li>・ 来てみたくなる小牧の顔づくり</li> <li>・ 市民・企業・行政のパートナーシップによるまちづくり</li> </ul> <p>施策の大綱</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域の力を高めるまちづくり <ul style="list-style-type: none"> <li>- 地域自治の推進 -</li> </ul> </li> <li>・ 快適でやすらぎのあるまちづくり <ul style="list-style-type: none"> <li>- 生活環境の整備 -</li> </ul> </li> <li>・ 健康で安心して暮らせるまちづくり <ul style="list-style-type: none"> <li>- 保健・福祉の充実 -</li> </ul> </li> <li>・ 豊かな心と創造性を育むまちづくり <ul style="list-style-type: none"> <li>- 教育・文化の振興 -</li> </ul> </li> <li>・ にぎわいと活力のあるまちづくり <ul style="list-style-type: none"> <li>- 都市・産業の基盤整備 -</li> </ul> </li> </ul> <p>時代の潮流</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自立性、選択性の重視と自己責任の確立</li> <li>・ 自然の再認識</li> <li>・ 地球時代 ・ 少子・高齢化時代</li> <li>・ 高度情報化時代</li> </ul>



かがやきクリエイション 21 第5次小牧市総合計画

---

平成12年3月

発行 / 小牧市役所 〒485-0023 小牧市堀の内一丁目1番地  
TEL (0568) 72-2101

編集 / 小牧市役所企画調整部 企画課

印刷 / 大日本印刷株式会社